

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 31 年 4 月 15 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	NUDT15 遺伝子 codon139 多型
検査コード	0080
JLAC10	8C955-9956-019-862-14
診療行為コード	160216050
検体量	全血 2.0 mL
保存・容器	冷蔵・E1
実施料（判断料）	2,100 点（血液）
所要日数	6 ～ 11 日
検査方法	PCR（リアルタイム PCR）法
基準値	設定なし
報告形態	アミノ酸表記（Arg/Arg、Arg/Cys、Arg/His、Cys/Cys、Cys/His、His/His）にて報告
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・重複依頼不可 ・採血後、静かに転倒混和し冷蔵保存 ・採血当日中に出検 ・受付曜日：月～金、休日の前日は受付不可

保険収載名称：Nudix hydrolase15（NUDT15）遺伝子多型検査

保 険 注 釈：ア Nudix hydrolase15（NUDT15）遺伝子多型検査は、UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型の所定点数に準じて算定する。

イ 本検査は、難治性の炎症性腸疾患、急性リンパ性白血病等の患者であって、チオプリン製剤の投与対象となる患者に対して、その投与の可否、投与量等を判断することを目的として、リアルタイム PCR 法により測定を行った場合、当該薬剤の投与を開始するまでの間に 1 回を限度として算定できる。

《 解 説 》

Nudix hydrolase15 (NUDT15) は、炎症性腸疾患や白血病などの治療に用いられるチオプリン製剤の代謝に関与している酵素です。NUDT15遺伝子コドン139に存在する多型によって酵素活性が変化することが知られており、特に、酵素活性が著しく低下するシステインホモ (Cys/Cys) を持つ場合は、チオプリン製剤投与後に重篤な副作用を発症するリスクの高いことが報告されています。

本検査は、NUDT15遺伝子コドン139がコードする塩基配列を検出し、チオプリン製剤投与の可否や投与量の判断補助、副作用出現の予測などに有用です。